

広島県知事の湯崎です。

最近では新規感染者が、ゼロの日もあるなど、感染状況は落ち着いてきています。

重症者の方や療養中の方も少なく、もし100名程度のクラスターが発生しても検査体制や医療提供体制は十分に対応できることから、現在の県の状況は最も低いステージIに当てはまると判断しました。

これは、県民と事業者の皆さまによる感染予防の努力のおかげです。

またこの度、国の方針にも合わせ、イベント要件を緩和しました。イベントやお出かけなどを自由に楽しんでいただくためにも気を緩めることなく、引き続き感染予防をお願いします。

特に、飲食は、取組宣言店などの感染防止対策をしているお店をご利用いただき、広島コロナお知らせQRでメールアドレスを登録してください。

近々始まるGo To Eatキャンペーンでは、宣言店の登録と広島コロナお知らせQRの掲示が参加条件となります。

お客様が広島県で安心して飲食を楽しめるよう、事業者の皆さまは積極的に登録してください。

また、県では、県内の感染情報を集め、分析や評価をする情報分析センターを立ち上げました。

県民の皆さまへは、データから分析した情報をお伝えし、県でも感染対策のために役立てます。

今日は、これまでに分析した結果をお伝えします。

まず、症状がある場合の陽性率は高いということです。しかし発症から陽性分かるまでの日数は、平均で3.8日もかかっています。理想は発症したら翌日には結果がわかることです。風邪のような症状が出たら、出勤や外出はせず、すぐに病院に相談・受診をしてください。

次に、マスクの着用についてです。マスクなしの人はマスク有りの人に比べて陽性率が2倍以上高くなるということが分かりました。普段からマスクの着用を徹底してください。

最後に、高齢者の皆さま、特に80歳以上の方や、年齢に関係なく肥満・高血圧・糖尿病などの基礎疾患がある方は、重症化リスクが2倍から4倍も高くなっています。重症化リスクの高い方は、感染しないように、また、そういった方に感染させないよう注意が必要です。

このようなデータから、改めて、マスクの着用の徹底や症状が出たらすぐに検査することがいかに重要かがおわかりいただけると思います。

今後も県ではデータを分析し情報を発信してまいります。